

放送大学 北海道同窓会会報

第 32 号

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 沖野 茂夫

編集 広報担当

発行日平成 30(2018)年 7 月 3 日(火)

URL:<http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 221 名(2018 年 6 月 30 日現在)

「同窓生の皆様へ」

北海道学習センター所長 新田 孝彦

同窓生の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より大学のさまざまな活動にご協力をいただいておりますことに対し、改めて感謝申し上げます。

放送大学は、創設以来、情報技術や情報環境の進展とともに、授業を発信するメディアも、ラジオ、地上波テレビ、CS デジタル、BS デジタル、そしてインターネットへと拡大と変遷を遂げてきましたが、今年の 10 月からはテレビ放送は BS に集約され、しかも常時 2 チャンネル化が実現することになりました。新チャンネルでは、授業番組に加えて、放送大学の多様な資源を活用した一般視聴者向けの生涯学習番組や告知番組など、これまでにない新しい番組を提供する予定です。同窓生の皆様も、これらの番組を利用し、生涯学習への意欲をさらに高めていただければ幸いですし、周囲の方々にも広めていただければ大変ありがたく存じます。

さて、放送大学には、意欲のある方ならば「誰でも、いつでも、どこでも」学ぶことができるという、通学制の大学にはない特色と魅力がありますが、他方では面接授業以外には机を並べて学ぶ機会がなく、単位認定試験時以外に学習センターを訪れる時間をつくるのが難しい方もたくさんいらっしゃると思います。「自宅がキャンパス」ということは、キャンパスライフを共にすることから生まれる同窓意識も期待しにくいということになります。特に広い北海道においては、開拓期の集落のように卒業生が散在し、結びつきを確かめることは容易ではありません。

しかしながら、昨年の会報にも記したことですが、放送大学で教えたことのある多くの先生方が異口同音におっしゃるのは、学生の「学びに対する高い意欲や熱意」と、「困難や挫折を乗り越える気概」です。ここに放送大学生の最大公約数があるように思います。大学で学ぶ目的、取得した資格、選択したコースなどはそれぞれ違っているとしても、「ひとりではがんばった」という体験ならばすべての卒業生が共有できるでしょう。この体験を結節点とした同窓生の結びつきは、放送大学の宝になります。



ただ、これまでは、同窓生に関する情報を提供することができず、これが同窓会活動の拡大の妨げになっていたのですが、各地の同窓会からの強い要望もあり、今年度より限定された範囲においてはありますが、同窓会に対して同窓生の情報を提供することが可能となります。こうした仕組みも活用して、より多くの卒業生が参加する同窓会に成長し、大学のよき応援団となって下さることを心より期待いたします。



「2年目のスタートに当たって」

放送大学北海道同窓会
会長 沖野茂夫



4月28日に開催された放送大学北海道同窓会の定期総会で、会長としての2年目のスタートを切りました。総会では前年の事業報告とともに今年度は概ね前年度の活動を踏襲する旨を説明し、会員の皆様の承認をいただきました。

ただし「放送大学研究発表会」については、このところの春・秋2回の開催を、秋1回の開催にするとのことで調整をさせていただきました。春の開催は年度末の繁多な時期に開催準備を行わなくてはならず、特に仕事を持つ実行委員には相当の負担となっていたため、こうした決定となりました。

しかし卒業生・修了生にとってはこの研究発表会が唯一無二の発表機会というのが現状ですので、これまで恒例となっている一開催で2例の発表件数を増やして、年4例程度の発表件数を確保していただきたいとの希望を持っています。副会長の宮崎新吾さんが研究発表会実行委員長に選任されていますので、実行委員会の場で議論をいただきたいとのお願いをしています。

その他例年にない行事としては、東北・北海道ブロック交流会の札幌開催があります。これは全国の同窓会を6のブロックに分割して、そのブロック内での活動の活性化と交流を図ることを目的としているもので、札幌での開催は2回目となります。

今年は新しく昨年12月に設立された岩手同窓会が加わり、東北6県と北海道のすべての同窓会が揃っての開催となります。私もこれまでに弘前・秋田・山形で行われた交流会に参加し、同窓会の運営に参考になる多くの事例をお聞きしてきましたので、ぜひ成功をさせたいと考え、前回の会議の終了時点から準備を進めてきました。

期日は、参加者に学習センター・学友会・同窓会の共同事業としての北海道独自の文化祭を実感していただきたいとの思いから、その時期に合わせた9月15日・16日に設定しています。15日予定の文化祭での講演会「札幌農学校と『北海道』」にも参加していただく予定です。

5月26日と27日に放送大学同窓会連合会の総会に出席してきましたが、「同窓会メンバーが出演する音楽会の開催」「同窓会会員の専門学校への非常勤講師の派遣」などユニークな報告がされる一方で、出席した同窓会に共通する悩みとしては「役員候補者の不足」との報告もありました。

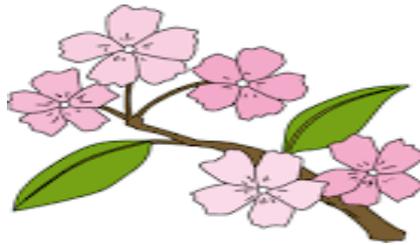
それぞれの同窓会が対策に工夫を凝らしていますが、押しなべて焦点を当てているのは学習センターでのイベント開催や茶話会を通して、会員が同窓会活動に繰り返し参加する機会を増やすなどの対策を講じているとの発表がありました。

また宮城野会の事例では「『忙しくて役員にはなれないが何か少しでもお手伝いをしたい』と云う申し出にたいして“サポーター”として登録して貰い、会員への会報発送時のお手伝等をして頂いている。今年は5名の申し出があり、助かっている」との事例も示されました。

いずれも有効な先駆的事例で、これらを十分に参考として北海道の身の丈にあった方法を選考して、役員確保に努めていきたいと考えています。

〈放送大学同窓会連合会の総会の様子(2018.5.27)〉





平成29年度後期 学位授与式



〈修了・卒業を祝う会の様子〉

〈学生サークルうたの会のみなさんからお祝いの歌のプレゼント〉



「祝ご卒業、お喜び申し上げます」

放送大学北海道学習センター
客員教授 森田 勲



この度それぞれの学位を取得された皆様、心よりお喜び申し上げます。また、さまざまなやり繰りを乗り越えての偉業に心から敬意を表します。今年はピョンチャンでのオリンピック・パラリンピックが開催されたこともあり、思い出深い年になることと思います。ピョンチャンでは私たちの住む北海道からも大活躍する選手が続出し、北海道が一層注目されるきっかけになったことは喜ばしい限りです。オリンピックに出るような選手の普段は過酷な生活で、体調を崩すことなく、しかも効果を最大限に引き出すための工夫と努力の積み重ねの毎日です。個人の努力はもちろんですが家族やスタッフのサポートが重要で、今回もそのことに触れる選手が多く見られました。偉業を達成するためには多くの人との関わりと応援が必要であることをあらためて認識された方も多いでしょう。

晴れの日を迎えた皆さんにおかれても不断の努力に加え、学生同士はもちろんのこと、教職員の皆さんや家族、職場での関係性の上に成り立った結果であることは間違いなく、このような経験は皆さんにとって一生の財産となることでしょう。

私の専門は体力科学（トレーニング科学）です。からだを動かすことの恩恵は、医学的な見地はもちろんのこと健康面や社会性への影響など多岐にわたっております。仕事柄、自分の周囲の人がどのように健康管理をして、身体活動をどのように実践しているかということが気になってしょうがありません。例えば、私の同僚の多くは教育者であり研究者ですが、朝から夜遅くまで部屋に閉じこもって仕事に没頭し、休日もほとんど休まずに仕事を続ける方も少なくはありません。一方、ジョギングやウォーキングをはじめ色々なスポーツを生活に取り入れている方も多く見られます。それぞれの資質にもよると思いますが、前者のタイプはやや猫背気味で伏し目がちであり歩幅も狭く、見るからに筋力不足による姿勢の悪化傾向、後者はその逆で澁刺として颯爽とした様子が窺い知れます。

今後、学習意欲の維持向上も重要ですが、からだを動かすことによる健康管理も是非ご一考下さい。お薦めは息が上がらない程度の活動「ニコニコペース」です。このペースで動いていると体力がついて、それまで辛かったことが辛くなくなり継続もしやすくなります。時として大変な学習活動も、たまには「ニコニコペース」を意識して乗り越えるのも1つの手段かもしれません。

本当にひとことでしたが、最後に皆様の今後のご健勝を祈念しお祝いの言葉といたします。

<皆さん、卒業おめでとうございます。>

放送大学北海道学習センター客員教授
杉浦秀一



おめでたい論集なのに、少々気が引けますが、不幸についてお話しします。ロシアの作家トルストイの小説『アンナ・カレーニナ』を御存じでしょうか。その冒頭は大変有名です。「幸せな家族はどれもみな同じように見えるが、不幸な家族にはそれぞれの不幸の形がある」。(望月哲夫訳) この冒頭の一文によって、長編小説のなかで展開されるアンナ・カレーニナの運命が要約されている名文です。でも、本当に幸せな家庭は皆同じで、不幸な家庭はそれぞれ違うのでしょうか。世界中で議論されています。

私には、トルストイが正しく思えます。1960年代の日本で、見田宗助という若い社会学者(今では大先生で東大の名誉教授です。)が面白い調査をしました。当時の日本は高度成長期で、大勢の若者たちが集団就職で東京や大阪などに働きに来ました。繊維工場にはたいてい、若い女性労働者のために女子寮がありました。見田宗助は、この女子寮の女性たちに、「あなたは幸せですか、それとも不幸ですか?」と質問したのです。半分の女性たちが幸せ、残り半分が不幸と回答しました。ごく普通の反応ですね。そこで見田は質問を加えました。「あなたは、これから何をしたいですか?」ここで回答が分かれたのです。自分が幸せだと答えた人たちは、これから何をしたいかあいまいで、漠然とした回答だったのですが、自分が不幸と答えた人たちは、不幸を克服するための、具体策を回答する傾向があったのです。

つまり、幸せはあいまいで、不幸は具体的だったのです。これ、勉強のヒントになりませんか?人を幸せにするために研究する、もちろん素晴らしいことです。でも、具体的に何を研究してよいか分からなくなった時は、不幸を減らすために研究する、と頭を切り替えてみるのです。そうすれば、不幸の具体的姿が浮かんできますし、対決しなければならぬ課題も見えるかもしれません。

三題話にするため、もう一つ加えます。学生時代に、藤田省三か遠山茂樹の本だったと思いますが、(このあたりの記憶あいまいです)「歴史の進歩とは、個人の責任によらない不幸が減少することである」という文章に出くわしました。幸福の増大ではなく、不幸の減少に着目して論じている点に感心した覚えがあります。遠山であれば、わりと肯定的な、藤田であればやや否定的なニュアンスがあったはずですが、これも忘れませんでした。

まとめとして、研究にとって、不幸の問題は常に身近な存在です。ですから、困ったら、不幸について考えてみてください。実は不幸については、三題どころか、五題も、十題もあります。それだけ、困った研究者が多かったのでしょうか?皆さんも試してみてください。「困ったら、不幸について考えよう」と。

2018年3月13日

<卒業おめでとうございます!!>

放送大学北海道学習センター 客員教授
和 泉 光 則



みなさま、放送大学の卒業・修了、本当におめでとうございます。やりましたねー！本当に素晴らしいです。この素晴らしさは、放送大学ならではの、そしてあなた自身しか味わえない、本当に特別なものだと思います。それは、まず大学・大学院に入学しようと思ったきっかけ、動機。次には、入学するという決断と行動。そして本当に幅広く質の高い放送大学の授業を履修したこと、さらには単位認定試験前の勉強やその負担そしてあの不安を乗り越えて単位を取得し、何年間という期間、所定の卒業単位を積み上げてきたことです。放送大学は、受け身では決して通用しません。能動的に、そして意識を高めて継続することが、とても大切です。それは自己鍛錬とも言える。放送大学の学位記は、その意識と行動と継続の証です。これらを振り返ってみると、そのひとつひとつをクリアして卒業まで到達したことに、あなたならではの特別な思いをお感じになるでしょう。

もうひとつ、ここまでの学生生活を振り返ってみてください。うまくいった思い出、ちょっと失敗しちゃった思い出など・・・そこに「こういうところが私らしいんだよなー」と、なんだか感じられるんじゃないかと思います。大学の勉強というものは、知識を積み上げたりスキルを高めたりするだけじゃなく、自分を磨く中で自分らしさを発見するものでもあります。この“自分らしさの発見”は、卒業・修了をやり遂げたあなたの、今の実感と相まって、これからのあなたのキャリアや自己実現へ通じる道を確実に照らしてくれるでしょう。

私も卒業生の一人ですが、この放送大学の素晴らしさは、ひとつのことを成し遂げるための、動機と決断・勇気と行動・意識と継続にあると思います。そしてみなさんは、それらをもって、卒業・修了という目標を達成しました。今、見えているささやかな自分らしさを感じながら、“成し遂げた”自信を胸に、放送大学卒業生という誇りをもって、自分らしく人生を進んでください！

「時に感じて良（まこと）に己（や）めると為す」

北海道学習センター広報主幹
石ヶ森 新太郎



みなさん ご卒業・ご修了おめでとうございます。北海道学習センターの職員一同お祝いを申し上げます。

みなさまのご卒業・ご修了に、事務職員として僅かでもお役に立てたことがございましたら、嬉しい限りです。

わたしの好きな漢詩に、中唐の詩人である白樂天の「送春（春を送る）」があります。その中の一節に

「人生似行客（人生は行客に似たり）

兩足無停歩（兩足は歩を停むることなし）

日日進前程（日日前程を進む）

前程幾多路（前程は幾多の路ぞ）



というのがあります。

人生とは旅人のようなもので、毎日歩き続けなければならないものである。その進む道は人によってそれぞれ違うものだ。というくらいの訳でしょうか。

みなさんは放送大学で学問をするという道を歩み、一つの到達点に達したわけですが、同じ放送大学で学んでも、卒業・修了にいたる道筋はそれぞれ異なっていたのではないのでしょうか。だからこそ一入の感慨があります。

ですが、これで終わりではありません。なぜなら人生はまだまだ先があり、歩み続けなければならないのですから。



〈修了・卒業を祝う会記念写真〉



〈修了・卒業生より
記念品贈呈の様子〉

修了生・卒業生を
代表して
高橋道子さんが
記念品の目録を
贈呈しました。





卒業・修了された皆様から寄せられた喜びの「ひとこと」です (写真は学位授与式と祝う会より)

《情報コース》

札幌市 榎本 聡子

今回は3つ目の卒業です。情報コースですが、これに継続入学するまえに情報単位をすべて取得してしまっていた。簡単に卒業出来ると考えていた時に、カリキュラムの改訂があり、あらたに16単位取得という条件になり、新しくできた科目だけでは2年で卒業は難しく、面接授業で北海道はもちろん、文京SC・多磨SCなども行きました。その結果、今回卒業の段階で、情報の単位だけで94単位にも達しました。お蔭様で幅広い知識を得ることはできましたが、ため息のでるコースでした。



《心理と教育コース》

札幌市手稲区 建部 奈津子

もともと大学へ行きたいという気持ちが、大人になっても残っていました。

放送大学を知人から紹介して頂き、8年をかけて卒業することが出来ました。ゴールが見えない時期はとても大変でしたが“目標がある”ということは、生きる糧になりました。

私が学ぶ姿を見て、2人の子供も関心を持っていたようです。

よく一緒にテーブルで勉強しました。とてもよい思い出です。

「有言実行」「率先垂範」思うだけではなく行動に移すことを身につけられました。

シベリア抑留体験を語る会に学友も参加して頂き、大変ありがとうございました。





《情報コース》

千歳市住吉 象谷 敏孝

この2年間、大きな病気にも罹らず、大怪我もせず、大事故にも合わずに無事に過ごすことができました。

今回は「情報コース」を楽しく学ぶことができて、卒業を迎えることができました。

始めは、なかなか学習が捗らないもどかしさや苦しみもありましたが、学ぶことの楽しみを味

わうこともできました。

感謝しています。放送大学で、これからも学び続けていきます。よろしくお願い致します。



《人間と文化コース》

札幌市北区 木戸 源一

学んでいると卒業が近づくにつれ、いつも以上の張り合いが出て来ます。そして卒業を迎えた今は、うれしさと“ホット”したのが両方です。

学びながら私は多くの友人を得ました。多くの知識を得ました。これはこの上ない喜びです。

私はこれから再入学します。放送大学での学びは私にとり重要な生活の一部でもあります。いつも支援下さる事務局の方々と学友に、心より感謝の気持ちでいっぱいです。



平成 30(2018) 年度定期総会開催

定期総会を 4 月 28 日 (土) 午後 3 時 00 分から開催しました。

会長挨拶の後、新田所長から挨拶があり、加藤栄名誉会員、新任の柴田事務長からの祝辞がありました。その後、岩崎幹事が会員の近況を数名報告しました。続いて司会者が、会員 226 名・出席者 15 名・欠席委任状 91 名と報告したのち、議長選出を議場に諮ったところ、司会者一任との議場の声から、司会者は宮崎副会長を指名し議事に入りました。

第 1 号～第 3 号議案 (平成 29 年度事業報告・会計収支決算報告・会計監査報告)、第 4 号～第 5 号議案 (平成 30 年度事業計画案・会計収支予算案) について、いずれも承認可決されました。

第 1 号議案

平成 29(2017)年度事業報告

平成 29(2017)年 4 月 1 日～平成 30(2018)年 3 月 31 日

平成 29(2017)年

- | | | | |
|-----|---------|-------|---|
| 4 月 | 1 日 | (土) | ・「第 14 回放送大学研究発表会」開催 |
| | 27 日 | (木) | ・卒業文集「ひとこと集」製本・発行 |
| 5 月 | 6 日 | (土) | ・役員会(定期総会、親睦会検討) |
| | 20 日 | (土) | ・定期総会、親睦会開催 |
| | 21 日 | (日) | ・石狩市浜益川下海岸清掃活動参加(ビーチコーミング参加) |
| | 27・28 日 | (土・日) | ・同窓会連合会定期総会へ出席 (会長・前会長) |
| 6 月 | 10 日 | (土) | ・「第 14・15 回放送大学研究発表会」実行委員会
・会報 30 号編集会議 |
| | 15 日 | (木) | ・会報 30 号編集会議・印刷依頼 |
| | 25 日 | (日) | ・洞爺湖町虻田海岸清掃活動 |
| 7 月 | 4 日 | (火) | ・役員会 (第 1 回役割分担について・その他)
・「第 15 回放送大学研究発表会」実行委員会 |
| | 8 日 | (土) | ・会報 30 号発行 |
| 8 月 | 5 日 | (土) | ・役員会 (ブロック交流会について・その他)
・「第 15 回放送大学研究発表会」実行委員会 |

- 22日 (火) ・「第15回放送大学研究発表会」実行委員会
会場資料製本
- ・平成29(2017)年度第1学期卒業を祝う会準備
(祝う会と入会案内作成他)
- 26・27日 (土・日) ・海浜美化エコツアー参加
- 9月 2・3日 (土・日) ・同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会
(懇談会・懇親会)
- ・同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(情報交換会)
開催地 山形
- 8日 (金) ・「第15回放送大学研究発表会」準備
- 9日 (土) ・「第15回放送大学研究発表会」開催
- 12日(火)～17日(日) ・「第9回文化祭」開催(同窓会活動の様子を展示)
- 24日 (日) ・平成29(2017)年度第1学期卒業を祝う会開催
・インターナショナルゴミ拾いビーチウォーク参加
- 30日 (土) ・卒業文集「ひとこと集」編集会議(メール)
- 10月 5日 (木) ・卒業文集「ひとこと集」編集会議
- 8日 (日) ・新入学生歓迎茶話会(学生支援の為協力)
- 26日 (木) ・卒業文集「ひとこと集」製本・発行
・役員会(会報31号編集について・その他)
- 11月 9日 (木) ・「第15,16回放送大学研究発表会」実行委員会
・会報31号編集会議
- 16日 (木) ・第31号 会報印刷依頼
- 30日 (木) ・第31号 会報発行
- 平成30(2018)年
- 2月 24日 (土) ・平成29(2017)年度第2学期卒業を祝う会準備
(祝う会と入会案内作成他)
- 3月 3日 (土) ・役員会(卒業・修了を祝う会の準備について)
- 24日 (土) ・平成29(2017)年度第2学期卒業を祝う会準備
- 25日 (日) ・平成29(2017)年度第2学期卒業を祝う会開催
- 31日 (土) ・卒業文集「ひとこと集」編集会議(メール)

第2号議案

平成29(2017)年度会計収支決算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

○収入の部

単位:円

科目	予算額	決算額	備考
前期繰越金	853,510	853,510	
繰越前受会費	269,000	269,000	2018年度以降分
入会金	18,000	23,000	前受入会金 13,000
年会費	180,000	192,000	前受会費 132,000
助成金	80,000	80,000	連合会
その他の収入	10	22,347	受取利息、委託販売益
寄付金		60,640	中根様他
当期前受会費		155,000	2018年度以降分
合計	1,400,520	1,655,497	

○支出の部

科目	予算額	決算額	備考
通信費	20,000	35,799	総会案内送料ほか
事務費	45,000	40,093	用紙代ほか
事業費	230,000	237,059	下記内訳のとおり
（研究発表会助成）	50,000	48,965	実行委員会経費
（文化祭助成）	10,000	0	
（会報・広報費）	60,000	50,129	会報・広報制作費、送料ほか
（卒業を祝う会費）	80,000	132,499	祝う会参加費との差額
（ホームページ費）	10,000	5,466	ホームページ運営費用
（その他）	20,000	0	
旅費交通費	75,000	44,000	下記内訳のとおり
（交通費）	15,000	14,000	役員等交通費補助
（旅費）	60,000	30,000	同窓会連合会会議旅費補助ほか
繰越前受会費	269,000	424,000	2018年度以降分
予備費	761,520	0	
次期繰越金		874,546	
合計	1,400,520	1,655,497	

第3号議案 会計監査

放送大学北海道同窓会平成 29(2017)年度収支決算について、会計監査の結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成 30 年 4 月 12 日

監査 長谷部 清

監査 竹井 俊介

第4号議案

平成 30(2018)年度事業計画

平成 30(2018)年 4 月 1 日～平成 31(2019)年 3 月 31 日

平成 30(2018)年

- | | | | |
|-----|---------|-----|---|
| 4 月 | 12 日 | (木) | ・卒業文集「ひとこと集」編集会議・印刷依頼
・役員会(定期総会、親睦会検討) |
| | 26 日 | (木) | ・卒業文集「ひとこと集」製本・発行 |
| | 28 日 | (土) | ・定期総会、親睦会開催 |
| 5 月 | 12 日 | (土) | ・第 1 回役員会 (ブロック交流会について・その他)
・第 1 回正副会長候補選考委員会開催
・会報 32 号編集会議 |
| | 20 日 | (日) | ・石狩市浜益川下海岸清掃活動参加(ビーチコーミング参加) |
| | 26・27 日 | (土) | ・同窓会連合会定期総会へ出席 (会長) |
| 6 月 | 9 日 | (土) | ・「第 16 回放送大学研究発表会」実行委員会
・第 2 回役員会 (ブロック交流会について・その他)
・会報 32 号編集会議 |
| | 14 日 | (木) | ・会報 32 号編集会議・印刷依頼 |
| | 24 日 | (日) | ・洞爺湖町虻田海岸清掃活動 |
| | 28 日 | (木) | ・会報 32 号発行 |
| | 30 日 | (土) | ・「第 16 回放送大学研究発表会」実行委員会 |
| 8 月 | 4 日 | (土) | ・第 3 回役員会 (ブロック交流会について・その他)
・第 2 回正副会長候補選考委員会開催
・「第 16 回放送大学研究発表会」実行委員会 |
| | 25 日 | (土) | ・平成 30(2018)年度第 1 学期卒業を祝う会準備
・卒業文集「ひとこと集」編集会議
・第 4 回役員会 (ブロック交流会について・その他) |

9月 1・2日 (土~日) ・エコツーリズム in 積丹参加

11日~16日 (火~日) ・**「第10回文化祭」開催**

14日 (金) ・同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会準備

15日 (土) ・1日目 情報交換会・懇親会

16日 (日) ・2日目 北大構内散策 (開催地札幌)

22日 (土) ・「第16回放送大学研究発表会」実行委員会

・研究発表会会場資料製本

23日 (日) ・**平成30(2018)年度第1学期卒業を祝う会開催**

・インターナショナルゴミ拾いビーチウォーク参加

10月 4日 (木) ・卒業文集「ひとこと集」編集会議

・第3回正副会長候補選考委員会開催

6日 (土) ・役員会(会報33号編集について・その他)

(会報第33号原稿締め切り10/25)

・新入学生歓迎茶話会(学生支援の為協力)

11日 (木) ・卒業文集「ひとこと集」編集会議・印刷依頼

12日 (金) ・「第16回放送大学研究発表会」準備

13日 (土) ・**「第16回放送大学研究発表会」開催**

25日 (木) ・**卒業文集「ひとこと集」製本・発行**

11月 1日 (木) ・会報第33号編集会議

10日 (土) ・「第16、17回放送大学研究発表会」実行委員会

・第4回正副会長候補選考委員会開催

・会報第33号編集会議印刷依頼

30日 (金) ・**会報第33号発行**

平成31年(2019)年

2月 23日 (土) ・平成30(2018)年度第2学期卒業を祝う会準備

(祝う会と入会案内作成他)

・第5回正副会長候補選考委員会開催

・役員会(交流会・会報33号編集について・その他)

3月 23日 (土) ・平成30(2018)年度第2学期卒業を祝う会準備

24日 (日) ・**平成30(2018)年度第2学期卒業を祝う会開催**

※研究発表会実行委員会と文化祭実行委員会は暫時開催予定

第5号議案

平成30(2018)年度会計収支予算

(2018年4月1日～2019年3月31日)

○収入の部

単位:円

科 目	予 算 額	備 考
前期繰越金	874,546	
繰越前受会費	292,000	2019年度以降分
入会金	18,000	前受入金 12,000
年会費	180,000	前受会費 132,000
助成金	80,000	連合会助成
その他の収入	5	受取利息
合 計	1,444,551	

○支出の部

科 目	予 算 額	備 考
通信費	20,000	総会案内送料ほか
事務費	25,000	用紙代、封筒印刷ほか
事業費	275,000	下記内訳のとおり
（研究発表会助成）	55,000	実行委員会
（文化祭助成）	10,000	実行委員会
（会報・広報費）	60,000	会報制作費、送料ほか
（卒業を祝う会費）	120,000	祝う会、ひとこと集等
（ホームページ費）	10,000	ホームページ運営費用
（その他）	20,000	その他の事業費（東北・北海道交流会）
旅費交通費	45,000	下記内訳のとおり
（交通費）	15,000	役員等交通費補助
（旅費）	30,000	同窓会連合会会議
次期繰越前受会費	292,000	2019年度以降分
予備費	787,551	
合 計	1,444,551	

議事の審議をすべて終了し散会しました。その後 何時ものいつものあの店で親睦会を開催。17名参加でお酒も入り、和気あいあい。放送大学の絆を確認し合いました。

「放送大学同窓会連合会
平成30年度（第21回）通常総会」報告

放送大学北海道同窓会

会長 沖野 茂夫

5月26日と27日の両日、千葉市美浜区の放送大学本部で開催された「放送大学連合会の通常総会」に出席しましたので、その模様を報告いたします。連合会は全国にある放送大学同窓会の連合会組織で、総会は前年度の活動報告と今年度の活動計画及びそれに伴う決算と予算などを審議・承認する会議です。



今年是这样した通常の議案のほか「会則の改定」と「役員の変更」が審議され、原案のとおり承認されました。この「役員改定」の中では、神奈川同窓会の佐柴慎二氏が会長に、石和健治氏（熊本）と矢野正義氏（茨城）が副会長に、また北海道同窓会の宮崎新吾さんも理事として選任され、会長以下それぞれが今年度の抱負を述べました。

また昨年の活動報告で特筆される報告がありました。それは、都道府県すべてに同窓会を設置することを目標として活動していた「同窓会連合会全国化委員会」が、2017年12月10日岩手同窓会の設立で、その役目を終えたとの報告です。これに対して、第2部検討会の冒頭では放送大学の来生学長から、全国化委員会の中心として活動してきた須藤國夫氏に対して感謝状と記念品が贈呈されました。

続く検討会では来生学長の『「マルチチャンネル時代の放送大学」—生涯教育の新たな展開—』と題して講演がありました。これは二つのチャンネルを持つことになる放送大学のこれからの構想を披瀝されたもので、内容としては232チャンネルを従来通りの大学教育の科目を放送する一方で、もう一つの231チャンネルの具体的な性格付けについてのお話でした。

「教育に必要な放送」「大学教育を行い、あわせて広く生涯学習の要望に応える」「その放送が授業科目と、大学に関する告知放送に限られる」という制約のなかどのようなコンテンツが用意できるか、大学が腐心している様子がひしひし感じられる内容でした。

2部の最後は地区交流会の活動報告にあてられ、東北・北海道ブロックは昨年の開催地の山形同窓会の柳澤 卓会長から、各地区の事例を中心とした発表がなされ、6ブロックの発表の最後に来生学長と池田副学長から所感と励ましをいただきました。

第3部は場所をパーティー会場へ移しての懇親会で、各地の同窓会が開催しているユニークな催し物や地域との連携の活動についての情報の交換、その一方で抱えている悩みなどについて率直に話し合いました。

翌27日は個別の学習センターの活動状況の報告で、北海道からは「卒業を祝う会とひとこと集の発行」や「研究発表会の意義と実施状況」及び「文化祭の様子」を報告しました。

総会ではすべての同窓会の活動状況が報告されましたので、中身を吟味して、北海道の実情に適した活動を参考にしていきたいと考えています。

第16回 放送大学研究発表会

記念講演：「倫理の論理 - 常識で読み解くカント倫理学の基底」

講師：放送大学北海道学習センター所長 **新田孝彦氏**

講演の概要

善悪や正不正の基準は何であり、それを正当化する根拠はどこにあるか。この倫理学の根本問題に対しては、古来、人間の利害や感情、共同体の便宜や慣習、あるいは自然や神の摂理など、さまざまな答えが提示されてきました。こうした中で、近代において、人間の理性に倫理を基礎づけたのがカントでした。理性は論理的推論の能力ですから、倫理の基底を理性に求めるということは、倫理に論理的な基礎を与える、言い換えれば、すべての人間に妥当する確実で普遍的な基礎を与えるということを意味します。



本講演では、われわれのもつ道徳的常識からこのカント倫理学の基底にある論理に迫ってみたい。

放送大学 研究発表

- 発表1 テーマ 「初期宇宙におけるダークマター挙動のN体シミュレーション」
放送大学教養学部 自然と環境コース 卒業 政川俊康氏
- 発表2 テーマ 「マリー・ローランサンと自画像
-20世紀初頭の前衛芸術との関わりを中心に」
放送大学教養学部 人間と文化コース 卒業 矢舗真理子氏
- 発表3 テーマ 「フランス料理と日本料理の成立史の比較について
-食卓文化の変遷に着目して-」
放送大学教養学部 情報コース 卒業 堀口貴恵子氏
- 発表4 テーマ 「プロスポーツにおけるセカンドキャリア考察
-連続するキャリアと非連続なキャリア-」
放送大学大学院 社会経営科学プログラム修了 飴田美佳氏

日時：平成30(2018)年 **10月13日(土)** 受付12:30 開始13:00-17:00

会場：放送大学北海道学習センター6F 大講義室 札幌市北区北17条西8丁目北大構内

主催：第16回放送大学研究発表会実行委員会

共催：放送大学北海道学習センター

後援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会

連携：道民カレッジ連携講座

問合せ先：e-mail tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp FAX:011-642-2389 電話 090-2058-4453

連 載
加 藤 栄 (名誉会員) の
自 分 史 回 想

第 1 回



〈 出 自 〉

父は北陸の福井県鯖江の農家の長男として明治 10(1877)年、西南戦争の頃生まれた。農業を好まず、繊維問屋に奉公し、21 歳のとき、知合いを頼りに北海道に渡り、芦別で荒物商を営んだが、大洪水で一時帰国(福井県鯖江市)し、再び店員として勤め、明治 41 年(1908)年、未開の沙流村エベコロベツ(現在の豊富町)で店を開き、明治 43 年現在の豊富市街地で商店を開いた。(今でいうコンビニの様な、なんでも屋)である。

私は大正 6(1917)年 6 月、父作造 40 歳の時、四男八女、12 人兄弟の四男として生まれた。

すぐの兄二人は乳児のときに死んでいたもので、生まれて七日目、附近の人々を招いて、出生祝いの祝宴を催し、

席上、^{くじ}籤引きして、当り籤の鍛冶屋のおやじさんが名付親となり、「栄」と命名してくれたのだと聞いている。

「1917 年頃の世の中」を見れば、

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1900(明治 33)年 | 清国では義和団の蜂起。 |
| 1904(明治 37)年 | 2 月に日露戦争が始まる。 |
| 1905(明治 38)年 | 日露戦争終わる。 |
| 1913(大正 2)年 | 北海道は大凶作(減収 90%) |
| 1914(大正 3)年 | 第一次世界大戦始まる。 |
| | 8 月、日本も参戦。 |
| 1917(大正 6)年 | ・加藤 栄 生まれる。 |
| | ・シベリア出兵。 |
| | ・ロシアで 2 月革命が起り、ロマノフ王朝崩壊。 |
| 1918(大正 7)年 | ・欧州大戦終わる。・越中女一揆(富山県で米騒動起る)。 |



栄さんが赤ちゃんの時

日露戦争が終わって 10 年程、第一次世界大戦の終盤、ロシア帝国の崩壊など世の中が大きく動いていた。

〔この頃〕、さすらいの歌、酒場の唄、安来節、のんき節、鴨緑江節などが流行、煙草の値段があがり、(口付)敷島 12 銭、朝日 10 銭、バット 6 銭、(刻み)あやめ 46 銭、なでしこ 26 銭と値上がりした。

〈 小学校の頃 〉

7歳で小学校に入学した。学校は自宅から300m位の所にあり、4教室程のもので、入学式に父母が連れて行ってくれる等の事はなく、姉と一緒にいった。その頃は皆そうだった様に思う。自分の名前が書ける程度で、風呂敷包みを背負い、教科書も新品ではなく、姉の使ったお下がり、国語は「ハナ ハト マメ マス」。

一年生のときの通知箋によると、身長3尺7寸(112cm)体重4貫720匁(17.7kg)胸囲1尺7寸5分(53cm)とあったから、あまり立派な体格ではなかった様である。そのせいか学校ではいつも、どの先生にも可愛いがられた。

高等科1年の時、教育勅語渙発40周年記念として、支庁管内の小学校から5名の優良児童が選ばれて支庁長から表彰されることになり、私もその一人に選ばれた。

この時校長先生が、「こうして良い子だと表彰されても二十歳すぎれば、『そんなこともあったね』と、昔話になるのが普通だ。お前だけは、そんな事になるなヨ」と言われた。この一言が今日も胸の真ん中に突き刺さって居て、私の以後の行動の制御装置として働いている。

鉄道の開通は3年生の時であった。

新聞配達

我が家で「北海タイムス」(後の北海道新聞)と「朝日新聞」の販売店をしていたので、毎朝一番列車(5時頃到着)で荷物を受け取り、駅舎で荷物を解き、市街地の配達分以外は妹が家へ運び、私は各戸への配達をしながら帰宅する。それから朝食を終えて登校する。最終列車で朝日新聞が来る。これは僅かであるから、私一人で処理する。これが午後7時過ぎの列車である。



加藤栄さんのプロフィール

1917年(大正6年)6月生まれ。

留萌管内幌延町出身。

同管内の豊富尋常高等小学校卒業後、豊富産業組合を振り出しに網走管内上湧別町(当時は村)産業組合、北見地区農協連、同指導農協連などに勤務、72年北農中央会を定年退職。39年にわたる農業団体勤務のかたわら専修学校入学資格検定に合格したのをはじめ農協監査技能者、中小企業診断士の資格を取得。「農業簿記の基礎」ほかの著作がある。北海道農業協同組合五十年史編纂委員会常任委員。

以上は1996(平成8)年5月23日北海道新聞(夕刊)に掲載されたものです。

今回からの連載は同窓会会報の為に執筆して下さいました。この続きは同窓会報第33号に掲載します。乞うご期待!!

第4回 紙 上 同 窓 会

1

いつも欠席で役員の方々、本当に申し訳ないです。仕事を続けているので、なかなか時間がとれません。仕事をやめたらまた勉強したいと思っています。

帯広市 富原 会員

H30.3をもって、教養学部人間と文化コースを卒業いたしました。引き続き、放送大学さんにお世話になろうと思います。今後ともよろしく願いいたします。

釧路市 三田 会員

学習会へ話題（論文紹介の機会があれば幸いです。社会活動家としての「賀川豊彦」と近代デンマーク興国の父を称されている「グルンドヴィー」についてです。

江別市 永幡 会員

遅くなりすみません。ぎりぎりまで出席を考えていましたが予備校事務局（クラスニック）に現在も携り、土曜夜も伺えないことがわかり本日返信致しました。私は東日本大震災の年3月修士の卒業がありましたが東京では中止、北大の中での終了式でした。

札幌市 福島 会員

孫の世話と町内会の花壇の水やり、草取りなどしています。役員の皆様ありがとうございます。会報誌楽しみに拝見しております。

札幌市 久保 会員

主人と母をここ3年の間に天国に送りちょっとひと休みしています。中根さんにもお会いしたいのですが少し遠いのでやめて札幌駅前だったらな～と思うこともあります。皆様によろしくね。又、何かでお会いしたいです。

江別市 岩岡 会員

去年は、学習センターに行くことがなかなか出来ずに終わってしまいました。今年度は、出かける機会を増やしたいと思います。

恵庭市 小笠原 会員

我目前正在学习通过全国考试。我想再在一所广播大学学习。

網走郡 斎藤 会員

年齢を考えて、親睦会への出席は遠慮することになりました。お許してください。

札幌市 加藤 栄 会員

最近は頭脳も身体も老化が進み、病院と訪問マッサージでなんとか維持しています。

札幌市 榎本 会員

3月25日学位記の授与式に出席しました。100歳まで学び続ける学友と同席しました。

札幌市 小林 会員

4月の勤務表ができてしまい休みではなかったため欠席いたします。もう少し早めに案内が欲しかったです。

乙部町 土谷 会員

役員のみな様、度々のお世話誠にありがとうございます。

札幌市 小田島 会員

役員の皆様、いつもご苦勞様です。当日、私は町内の「老人クラブ」の役員をしており、同じく定期総会＜役員改選ほか＞があり、親睦会もかさなりますので、欠席させていただきます。これからもよろしく。

札幌市 笠 会員

役員の皆様、心から感謝いたしております。ありがとうございます。

札幌市 齋藤 会員

昨年秋から日本100名城巡りをしています。2回目の今回は4月8日から20日間かけて西日本・四国・九州を廻る予定です。

北広島市 鈴木 会員

すみません。忙しいです。

札幌市 宮本 会員

年の故でしょうか。最近体調不良の日が続き残念ながら今年も欠席させていただきます。皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

札幌市 新井 会員

札幌からは遠く、出席できませんが、それなりに学びは続けています。

別海町 清水 会員

所用のため欠席致します。卒業して早や、8年近くになり、当時を思い出し懐かしい気分になっています。盛会となることを、お祈りいたします。

幕別町 馬淵 会員

昨年（平成29年）8月、北大病院整形外科で、腰の手術をし、本年2月16日退院して、歩行の訓練中です。「てんとう虫」を毎回、楽しみしております。

今後とも、よろしくお願い致します。

札幌市 田中 会員

皆様にはますますご清祥のことと存じます。利尻町では、文化交流の出来る観光施設を目指す土産物の商品開発、各種イベントの開発の取り組みが進められています。

観光最盛期のクルーズ船寄港は特に、にぎわいを見せます。是非一度遊びにいらして下さいーい!

利尻町 谷永 会員

日々の生活のなかで、老いに伴う行動を認識し素直に「老い」を受け入れながら、人生の知恵を求め賢い「老人」に成長していきたいと思っています。

幕別町 澤口 会員

同窓会会長様はじめ役員の方さまご苦勞様です。定期総会を盛会裏に終了することをご祈念申し上げます。総会の案内と一緒に、すでに終了している談話会のお知らせ等の載った第110号が入っております。

12月発行のものであれば、総会のお知らせ前に出すべきで、郵送料など多少経費がかかるでしょうが、御配慮お願いいたします。

幕別町 吉田 会員

＊同窓会事務局コメント

会報や定期総会案内を会員の皆さまに送付する際、**学習センター発行の在学生向け機関誌「てんとう虫」**を同封しています。これは、学籍を離れた同窓生の為に学習センターにお願いして頂いているものです。「てんとう虫」のみを221名の皆さまへお届けするには、費用と同窓会役員の方の労苦等を考えねばなりません。どうか御容赦ください。

連絡ありがとうございます。姉の後見のために、試験は受けられずに残念ですが、面接授業は4科目共にレポートの提出をできて、久しぶりに命の洗濯ができました。現状維持を心掛け過ごしたいと思っています。

札幌市中央区 金加 会員

昨年、父を看取り、現在義母、実母の介護中です。親睦会のご盛会をお祈りいたします。

札幌市中央区 小田 会員

フルタイムで働いておりますが郵便物発送等の業務がある場合は連絡いただければ対応いたします。

江別市 及川 会員

92歳の実母と一緒に生活しています。車いすをおして桜の花をみに行こうと話しています。皆様お身体を大切にお過ごし下さいませ。

札幌市 早坂 会員

身体が悪い為、欠席致します。*年会費不要のお知らせ、ありがとうございます。他の会など、その辺が不明になっている点が多く、心より感謝いたします。

代筆 志々見 (事務)
札幌市 小澤 会員

役員の皆様ご苦勞様です。残念ながら、体調不良もあって、今回も出席できません。どうぞよろしく願いいたします。

札幌市 前田 会員

元気にいまでも学生生活を楽しんでます。

札幌市 遠藤 会員

時々BSの放送大学の授業を視聴しております。

札幌市 石崎 会員

新会員です。どうぞよろしく願いします。

札幌市 加瀬 会員

大変申し訳ありませんが春の農作業忙しく出席することができません。

樺戸郡月形町 金山 会員

仕事ほか都合がつかず欠席させていただきます。センター機関紙、案内状で同窓会員なんだと。全て誌を読み感謝しています。役員の皆様 宜しく願いします。

札幌市 山口 会員

認知症の症状が現れる様になりました。先が心配です。

北広島市 松下 会員

現在教員の45才。新しい働き方、新しい人生のために時間を見つけて学び直したいと思っています。人生はこれから。

北斗市 高橋 会員

放送大学大学院修士選科生として学習中で御座居ます。

室蘭市 田尾 会員

学部3コース目(自然と環境)の単位取得も済み、9月の卒業を迎えるのが楽しみです。引き続き4コース目も挑戦したいと思います。

江別市 宗前 会員

勉強していた頃が懐かしく思われます。大学は私に小さな自信を与えて下さったようです。今は地元で、サロンを開き、多くのスタッフの才能を発揮してもらえよう、輝く笑顔の参加者、スタッフで終われる様、日々奮闘しております。

上川郡清水町 中河 会員

いつもお世話になりありがとうございます。お蔭様で元気に過ごしております。総会のご盛会と皆様方のご健勝をお祈りいたします。あいにく当日は予定が入っており欠席いたします。

札幌市 小淵 会員

昨年、新田孝彦所長が就任挨拶で帯広市に来られました。その際「放送大学帯広学友会のアドバイザー」として「帯広市での面接授業」の実施など遠隔地の学習の改善を要望しました。その効果は別にして今年度連携協力校の「帯広コア専門学校」で、この学校に在籍する学生とともに受講する面接授業が始めて実施されます。また単位互換協定校の帯広畜産大学を会場にして遠隔授業が実施されます。

道内各地の高等教育機関との連携は今後も不可欠です。

音更町 坂本 会員

帯状疱疹になりました。自分が体験して分かったことですが、周囲には「僕も3回罹った」、「娘が、目にウィルスが入って失明した」、「僕も頭から耳にかけて」、「俺は顔面神経麻痺に」「友人も舌に出て顔面麻痺に」など、多くの方が経験していました。

私が受診した皮膚科の医者曰く「水疱瘡のウィルスはいつも脳から脊髄にいて、免疫力が弱くなったところから噴き出すんだ」との事。私は右眉毛上からでした。失明寸前でしたが、事件は終了し、今は元気に動いています。しかし、また罹るかなと心配していたら、学習センターで、面接授業に来ていた会員から「予防注射がある」との事を聞き、ひと安心です。皆様のご健康を祈念しています。

札幌市 中根 会員

同窓会報編集委員から

紙上同窓会は平成 30 年度定期総会会員連絡欄を抜粋して掲載しました。ご連絡をくださった会員の皆様本当にありがとうございました。

名誉会員加藤栄さんの発案で始めた紙上同窓会も 4 回目を迎えました。会員の皆様のご感想はいかがでしたか? 紙上同窓会ですから学びのお悩み等お困りの会員にアドバイスもお願いします。また、生活の知恵やワンポイントアドバイスなど放送大学で知り得た知識や経験からもお手紙などをお寄せくださいね。私の健康法など。皆様からのお便りが無ければ続けていけませんので、どしどし近況などをお知らせください。また、返信はがきは定期総会をご案内する時に同封しますが、メール、FAX や郵便などいつでも受け付けています。また、皆様のご協力をお願いします。その他、ご意見なども受け付けております。宜しくお願い申し上げます。



第 10 回文化祭のお知らせ

テーマ 10年の絆を 明日につなぐ

日 時 9月11日(火)から16日(日)

場 所 放送大学北海道学習センター5階6階

講演会：15日(土) 13:00 開始

演 題：札幌農学校と「北海道」

講 師：ラフェイ・ミシェル氏(北大大学院文化研究科准教授)

講演会終了後

学生サークル発表 演芸：落語・手品・朗読・音楽など(予定)

ドイツ映画祭

9月12日(水)～9月14日(金)14:00～17:00

展 示 11日(火)展示物搬入～16日(日)展示物搬出迄 6階廊下

バザー

9月15日

12時開催

お待ちしております

います

*展示物、発表、演芸出演者、バザー品を募集しています。

同窓生の皆さん!お誘いあわせの上、参加して下さいね

第10回文化祭実行委員会 実行委員長 庄司京子

学生サークル紹介

イーグルクラブ

こんにちは、イーグルクラブの石川と申します。今回、当クラブの活動について紹介させていただく機会を頂きました。ありがとうございます。

さて、当クラブはゴルフを通じて各自の健康増進を図るサークルです。名前はイーグルですがダボペースのゆるいサークルです。

当クラブは2011年にゴルフ同好会として発足しました。それ以降、創設メンバーを中心に活動を重ねてきましたが、2016年に放送大学公認サークルとして承認を受け現在に至っています。今春2名の新入会員を迎え、メンバーは15名でそのうち4名が女性です。その他、熊本学習センター所属の学生も毎年8月に「来道参加」しています。

4月から10月の間、原則月2回（第二、第四水曜日）を活動日とし、札幌近郊のゴルフ場で例会を行っています。会員の多くが「シニア」のため乗用カート利用のリーズナブルなコースを選択し、メンバーは各自のペースで都合の良い時に参加します。毎回4名から8名が楽しく過ごしています。

昨年は16回企画しましたが、残念ながら4回は低温、荒天等で中止になり12回の実施でした。本来ゴルフは「ゴルフ場がクローズにならない限り実施する」のが原則ですが、当クラブの目的が「健康増進」であるために「無理しない」をモットーにしています。

今年も、前年並みの例会を予定しています。参加窓口は広く設けていますので、OB・OGの皆さんも是非ご参加ください。

イーグルクラブ 石川嘉保 goji270318@gmail.com

うたの会

代表 中根 恵美子

うたの会は、ローレライ、花、紅葉など愛唱歌を楽しむ学生サークルです。

放送大学学歌や北海道放大生賛歌、蛍の光・歓喜の歌なども歌い、英語・ドイツ語など原語でも歌います。プロの先生がピアノ伴奏で教えてくれます。うたの会の目的：豊かな人生の糧として、歌を通して広い文化活動を楽しみます。

皆さん健康のために声を出しましょう！！

放送大学の学びには健康が第一です。

一緒に大きな声で歌いましょう！！

入会を、お待ちしております。



学生サークル紹介

放送大学 **語学研究会**



放送大学**語学研究会**は、**英語・総合初級・ロシア語・中国語・語学ゼミ・イタリア語**などの語学と異文化を学びます。又、アイヌ語と一緒に学習する仲間を募集中です。学生の方・**卒業された方も**、楽しく学習できます。場所：5F 多目的室又は6F 会議室

英語部門 毎週木曜日 13:00-15:00

Welcome! カナダ人の先生のネイティブな英語にたっぷりつかって楽しく学ぶ! 毎回、旬な話題を取り上げるからおもしろい。グローバルな視野が広がります。

中国語部門 毎週金曜日 12:15-14:15

大家好! 皆さん ようこそ。お隣の国、中国は 13 億人を超える大きな国。高校で習った漢文を思い出す人もいます。北海道大学で学んでいる留学生から親切に教えてもらえます。

ロシア語部門 第 1・3 土曜日 12:30-14:30

Здравствуй! こんにちは。ロシア語の「初歩から」からゆっくりと繰り返し学べます。気軽に始めてみませんか?

アイヌ語部門 隔週位 金曜日 14:30-16:30 予定。

語学ゼミの中で学生同士。**プリント・テキストなど使用。** 学び方・生活での活用を体験。

イタリア語部門 毎週日曜日 11:00-13:00

Ciao a tutti! 「行きたい国」ランキングで常に上位の国「イタリア」そのイタリアで話されているのが「イタリア語」です。NHK 語学講座の教材などを使って基礎からじっくり。イタリアの文化や歴史などもあわせて学生同士で楽しく学び、講師との映画鑑賞なども予定。

Impariamo insieme l'italiano!

ご希望の方は、ご連絡をお願いします：大橋 chiyoko.ohashi@gmail.com 090-5953-7695

パソコン学び隊隊員 募集中!

パソコンは持っているけれども、今ひとつ利用できていない・・・

そんな悩みを解決しませんか?

たとえば・・・年次の挨拶状を作りたい。簡単な家計簿を作りたい

- ・ システム WAKABA にアクセスしたいなどなど

放送大学在学学生なら誰でも隊員になれます

連絡先 メール: miyasabon@yahoo.co.jp

電話番号: 080-5585-3416 島田

同窓会の社会貢献コーナー

5月20日石狩市浜益区川下海岸へ NPO 法人北海道海浜美化を進める会主催、協力大学3校と札幌の小学生33名も含め参加人数160名のうち、放送大学生参加5名で海岸清掃をしました。札幌から海岸線を北上する国道は途中の厚田道の駅が4月下旬に開設したため、渋滞が予測され迂回して海岸にエントリーすることになりました。いつもの海岸線とは景色が異なり、緑の杜の中を進むコースでした。果てしなく思える緑の中から突然青く広がるダムが現れ、参加者から「桃源郷の中みたい」と感動の声が上がり、初めて北海道を観光する気分でした。



2台のバスは浜益漁港祭り会場へ到着。参加者は魚介類を購入してその場で焼いて食べ、街では味わえない海の幸に舌鼓を打った後、川下海岸へ移動。開会式の後、ビーチコーミングの班とそのほか二手に分かれて海岸にエントリーしました。今年は白石区の三つの小学校の児童33名とボーイスカウトの児童16名に混ざり、学生50名など若い力と地域の方々の協力で1時間30分あまりの清掃活動をしました。



漂着ゴミは風に吹かれ何時ものたまり場に堆積していました。毎年、時間内に拾いきれず、残念がっている大学生、小学生多く、もう一度来て拾いたいと名残惜しそうでした。活動の後は町内会の婦人部が作った豚汁におにぎりやお弁当で昼食。その後、浜益温泉で汗を流し活動の感想文などを書きながら帰

路につきました。

6月3日ゴミ拾いビーチウォークに参加しました。

石狩市三線浜には老若男女650名程が人海戦術で海岸の清掃に励みました。

放送大学生は3名でしたがちびっ子に負けない様頑張りました。担当 中根



会費納入と新入会員募集のお願い

平成 30(2018)年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へお振込み下さる様ご協力をお願いいたします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費（初年度）1,000 円を下記口座へご送金ください。（次年度以降は年会費のみとなります。）

郵便口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目
放送大学北海道学習センター内

放送大学北海道同窓会
学習センター事務室内ポストに
直接投函可

FAX 番号 011-642-2389 中根

E-mail tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp

URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

新入会員のご紹介！！（敬称略・順不同）

平成 29 年度後期卒業生

(心) 畠山 依織 (心) 猪俣 順子
(生) 奥村 みどり (生) 山本 みゆき
(自) 加瀬 貞雄 (人) 吉田 正二
(情) 平田 修 (心) 小枝 光
(生) 宮川 隆子 (人) 飯田 裕美子
(自) 政川 俊康

〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『ロコミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター

TEL 011-736-6318

編集後記

皆様のおかげ様をもちまして、同窓会の会報も今回発行で 32 回目になりました。

先日、放送大学の同窓会の全国組織である、同窓会連合会の総会に参加してまいりました。放送大学の学生は、インターネットによる講義や印刷教材を使用しての自宅学習が中心となり、どうしても学生相互や学習センターとの交流が希薄になりがちです。そのような環境でも学生間やセンターとの交流を図る機会を提供するため、北海道同窓会では、会報の発行や卒業・修了を祝う会の実施、あるいは、研究発表会や文化祭の運営を通じて交流の場を提供できるよう努力しております。先の同窓会連合会総会では、全国の同窓会の活動やアイデアを聞かせてもらい、今後の北海道同窓会運営に役立てて、大いに交流を図りたいと思います。まずは、10月13日（土）に実施の研究発表会で皆さんとともに学び、ともに楽しみたいと思います。